

京都大学医学部附属病院乳腺外科では

下記の調査研究を進めています。

化学療法に伴う口腔粘膜炎の観察研究

乳がんでは抗がん剤の治療が必要になる場合があります、抗がん剤の治療では副作用を適切に対処することが大切です。中でも、口腔粘膜炎（口内炎）は頻度が高く、生活の質を落とす要因になります。予防策として口腔内衛生を保つようにしていますが、当院での実態は調査を行ってきませんでしたので、この度、化学療法に伴う口腔粘膜炎の実態について調査を行い、今後の治療の改善に役立てることになりました。

対象は、2012年から2017年までに当科にて抗がん剤の治療を受けられた患者さんです。この研究は承認日から2年間行われます。患者さんのカルテから収集できる情報を用いて化学療法に伴う口腔粘膜炎について調査・分析します。この研究は、当院の倫理審査委員会で倫理性・科学性が審査され、研究機関の長により承認されています。お名前、住所、電話番号、カルテ番号などあなた個人情報が特定できないように匿名化した情報を研究に使用しますのでプライバシーは厳重に守られます。

ご不明な点がありましたら、またより詳しくお聞きになりたい方は、担当医までお問い合わせください。本研究は過去の治療について検討することからあなたが不利益を被ることはありません。

なお、研究のための情報の利用を望まれない方は、あなたのデータを使用することは一切ありませんので、担当医に本研究へは不参加であるとの意思表示をなさってください。

(研究責任者) 京都大学医学部附属病院 乳腺外科・腫瘍内科 川口展子

TEL: 075-751-3660, FAX: 075-751-3616

(相談窓口) 京都大学医学部附属病院 経営管理課研究推進掛

TEL: 075-751-4899